

日の丸に怒りを一

山口 洋司

日の丸を汚したら罰せられる一。えらい世の中になってきました。表現の自由がまたもや危しくなってきたのです。強要される愛国心一。わたしたちの国はいったいどこへ向かおうとしているのか一。

只今世情、闇の中状態です。あれだけ問題になった安倍派を中心とした裏金問題は怎么样了のか、政治献金問題は怎么样了のか、高市政権以降いっさい表に出てきません。不思議、不可解ですね。

そればかりか安倍元首相の森友・加計問題、桜を見る会の不正もまだ解明されていません、宙に浮いたままです。なのに何事もなかったように政治の世界は進んでいます。

どんどんと高市さんの日本会議を中心とした自民党右派の政策が数の力に任せて強引に国会で通っていきます。恐ろしいことです。熊の出没などよりはるかに怖いことです。

軍需産業を経済成長のテコにしようという高市首相に呼応して小泉純一郎元首相のジュニアの防衛大臣がおそましい動きをしています。日本の武器の拡散に世界を駆けてます。まるで武器の商人、仲介人です。殺傷能力のある武器の全面輸出解禁にともなって、ことに動きが盛んです。フィリピン、オーストラリア、ベトナムなどに武器を提供し共に中国に対応しようとけしかけているようです。抑止力といういい方でどんどん進めています。

あげく小泉ジュニアは対中国対抗として原子力潜水艦の必要性をぶちあげ、日本の国是の非核三原則の見直しの議論を、とアクセルを踏み込みます。高市首相も非核三原則を、今、守っているとは言いますが、今後も守っていくとは問われても断言しません。

わが国は中国が批判する“新しい軍事国家”に限りなく向かっています。戦争放棄を掲げ、専守防衛の国が米、露、中、印について世界軍勢力5位にランキングされている現実です。今年度さらに大幅に増強されようとしています。反論の余地はありません。

憲法9条もなんのその、国のかたちを大きく変えるようなことが、民意に問うこともなくどんどん進んでいるのです。平和憲法が力づくでなぎ倒されてきている現実です。

沈黙している場合ではありません。軍事強化して世論が2分する政策を敢えて実行する、狂気じみた政権、高市政権です。

国家のシンボル、日の丸に向けて怒りをぶつけようではありませんか。

